

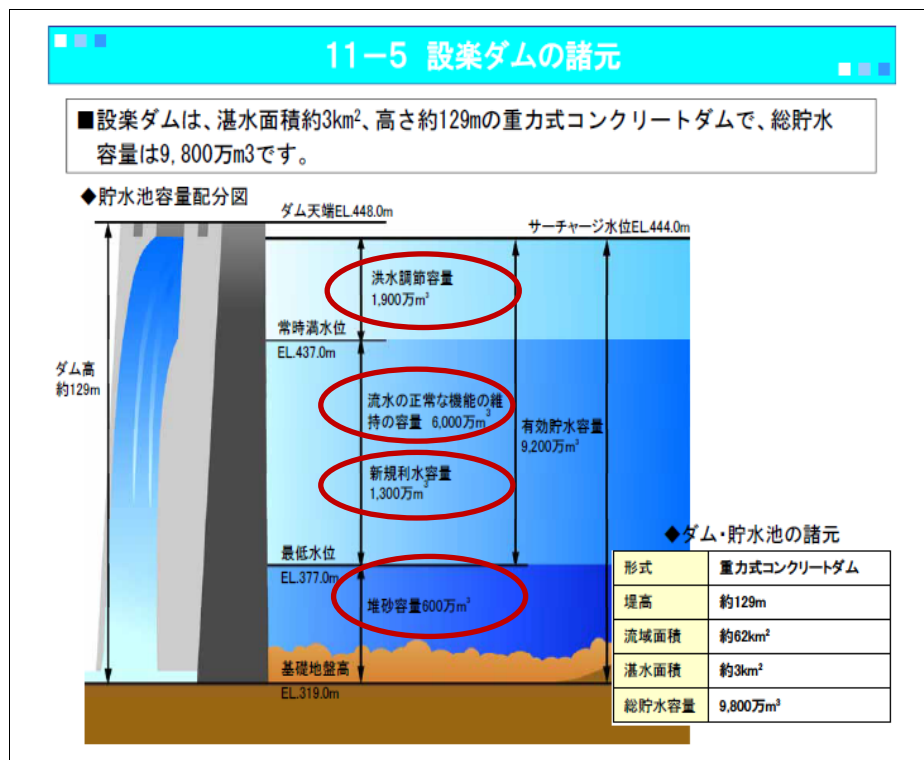
2) 利水 1300 万 m<sup>3</sup> (総貯水量の 13%、有効貯水量の 14%)

i) かんがい用 700 万 m<sup>3</sup> (総貯水量の 7%、有効貯水量の 8%)

ii) 水道用 600 万 m<sup>3</sup> (総貯水量の 6%、有効貯水量の、7%)

3) 流水の正常な機能の維持 6000 万 m<sup>3</sup> (総貯水量の 61%、有効貯水量の 65%)

○総貯水量 9800 万 m<sup>3</sup> - 有効貯水量 9200 万 m<sup>3</sup> = 堆砂容量 600 万 m<sup>3</sup>、(総貯水量の 6%)



### (3) 設楽ダム建設関係に係る費用

○愛知県HPでの費用

1) ダム本体建設事業費 2070 億円 (愛知県負担分 721 億円)

2) 水源地域対策事業費 903 億円 (愛知県負担分 668 億円)

合計 2973 億円 (愛知県負担分 1389 億円)

【小島注：ただし、国土交通省の設楽ダム点検結果では次のようになっている。】

1) 予算

・残事業を点検した結果(表 4.1.1 のとおり)総事業費は約 2,094 億円になった。

※ダム本体建設事業費は、2070 億円⇒2094 億円

(今のところ、24 億円の増加。愛知県の負担分の増加は示されていない。)

・なお、今回の検証に用いる残事業費は点検結果である約 1,822 億円を使用する。

2) 工期

・点検の結果は、表 4.1.2 に示す通り工事用道路の改良工事に着手してから事業完了

までに必要な期間約 11 年に変更はない。

※工事が 2015 年度開始と計算すれば、2026 年度に完成することになる。

(2026 年度の設楽町、流域各地域の姿をイメージすることが大事。)

### (3) 設楽ダムの経緯及び手続き状況

11-2 設楽ダムの経緯		
◆設楽ダム建設事業の経緯		
昭和46年	4月	予備調査に着手
昭和53年	4月	実施計画調査に着手
平成2年	5月	「豊川水系における水資源開発基本計画(フルプラン)」を閣議決定
平成11年	12月	豊川水系河川整備基本方針を策定
平成13年	11月	豊川水系河川整備計画を策定
平成15年	4月	建設事業に着手
平成18年	2月	「豊川水系における水資源開発基本計画(フルプラン)」の全部変更を閣議決定
平成18年	4月	豊川水系河川整備計画を一部変更
平成19年	6月	「豊川水系設楽ダム建設事業環境影響評価書」を公告縦覧
平成20年	10月	特定多目的ダム法に基づく「設楽ダム基本計画」を告示(国土交通省告示第1285号)
平成21年	1月	水源地域対策特別措置法に基づくダムに指定(H21.1.23:政令第6号)
平成21年	2月	損失補償基準の妥結調印、ダム建設同意の調印
平成21年	3月	水源地域対策特別措置法の水源地域指定、整備計画の決定
平成21年	12月	検証の対象とするダム事業に選定
平成22年	11月	設楽ダム建設事業検討の場(第1回)が開催 (第2回:平成23年2月、第3回:平成23年5月、第4回:平成23年12月)

## 2. 流域管理の考え方

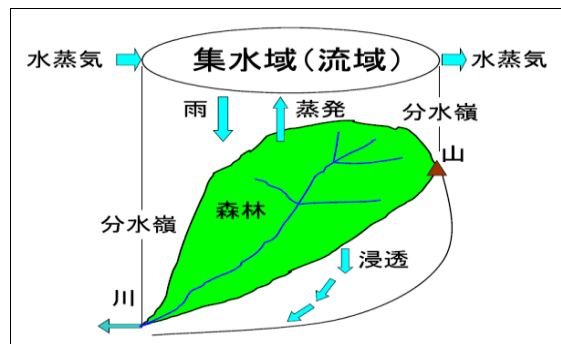
≪蔵治光一郎氏講演：「集水域が一体となって取り組む健全な水循環の再生」≫

※東京大学演習林生態水文学研究所長 蔵治光一郎氏

### (1) 集水域とは

**集水域(流域)とは**

- 川に流れる水は、山に降った雨が集まってきたもの
- ある川の集水域(流域)とは、最終的にその川に流れてくる雨が降る範囲をいい、分水嶺で囲まれている
- 川だけでなく、閉鎖性の内湾に対しても、集水域が定義できる
- 隣り合う集水域間で導水したり、遠くの集水域から水を持ってきたりするので、厳密な定義は簡単ではなくなってきた

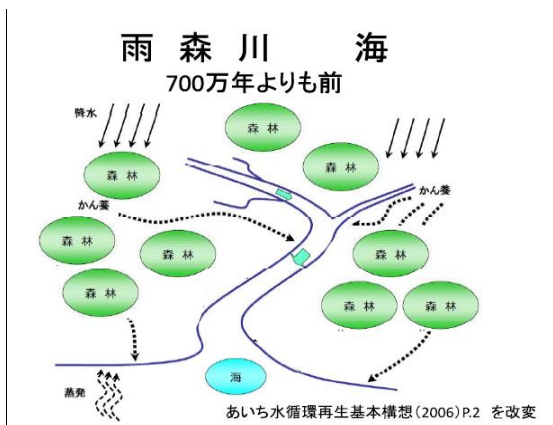


### 2) 集水域管理とは

**集水域管理とは**  
(統合的水資源管理、健全な水循環の再生)

- “貴重なエコシステムの持続可能性を損なうことなく、平等性を保持しつつ経済的・社会的厚生を最大化するために、水、土地、および関連の諸資源を調整しながら開発し、管理していく過程(プロセス)”  
(地球水パートナーシップの定義)

### (3) 水は循環している。しかし、時代によってそれは変化している。



### 700万年よりも前

- 川は不定期に洪水\*となり、下流に土砂が堆積し、その上を洪水が流れ、はんらんを繰り返す、そのたびに流れが変わった  
\*洪水=川の水量が特に多い状態
- 川は不定期に渇水\*となり、水量が一時的に減少した  
\*渇水=川の水量が特に少ない状態
- 森が陸地の大半を覆っていた